別紙様式５号（第７の３及び第８の３関係）

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

１　産地基幹施設等支援タイプ
Ｉ　産地競争力の強化を目的とする取組用

（都道府県名：岐阜県　令和２年度）

市町村名	事業実施主体名	メニュー①（対象作物・畜種等名）①	類別	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況① 計画時（平成28年）	1年後（平成30年）	2年後（令和元年）	3年後（令和２年）	目標値（令和２年）	達成率	成果目標の具体的な実績①	メニュー②（対象作物・畜種等名）②	類別	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況② 計画時（平成28年）	1年後（平成30年）	2年後（令和元年）	3年後（令和２年）	目標値（令和２年）	達成率	成果目標の具体的な実績②	事業内容（工種、施設区分、構造、規格、能力等）	事業費（円）	負担区分（円） 交付金	都道府県費	市町村費	その他	完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
美濃市	美濃酪農農業協同組合連合会	畜産生産基盤育成強化（畜産）	151	既存の乳製品の製造設備等を機能強化し、消費者ニーズに応じた新デザート製品の追加をして販売拡大を図る。	232,667,320円（平成28年）	－	209,091,680円（令和元年）	211,814,801円（令和２年）	328,768,441円（令和２年）	-21.7%	ワンショット系の「ひるがのＮＯＭＵヨーグルト150g」を新商品として新発売した。 また、これまで人の手でクレートに箱詰めしていたものが、ケーサー機の導入により自動化できたことで、工場職員の省力化を図ることができた。	畜産生産基盤育成強化（畜産）	184-③	労働時間削減のための酪農機械を導入することにより経産牛１頭当たりの労働時間の削減を図る。	94.09時間/頭（平成28年度）	－	84.99時間/頭（令和元年度）	83.65時間/頭（令和２年度）	69.52時間/頭（令和２年度）	42.5%	ＩＣＴを活用した搾乳機械の導入で搾乳時間の短縮ができ、分娩監視カメラ等の導入で分娩の管理の時間が短縮され、牛1頭当たりの労働時間が減少した。	乳処理加工施設（小型デザート充填機・シュリンク包装機等入替及び附随処理施設の改造）	277,452,000	84,786,000	0	0	192,666,000	H31.2.20	新たに導入した充填機を使用し、「生協ミルクプリン」「いちごヨーグルト」を新たに販売し、新商品として「ひるがのNOMUヨーグルト150」を開発販売した。 また、新たな販路として、愛知県内の2つの生協との取引を開始した。 一方、新型コロナの影響により関東・関西方面の生協との商談ができなくなり、遠方の生協との取引が減少したことで、出荷額の目標を達成することができなかった。 労働時間の削減については、ＩＣＴを活用した機械導入により少しずつ進んでいるが、目標には達することができなかったことから、引き続き生産者の指導を行っていくこととする。	乳製品については、新商品の開発・販売が行われており、一定の効果がみられる。乳製品の出荷額については、新型コロナの影響による商談や流通の制限、消費の減退等のやむを得ない状況ではあるが、今後、アフターコロナを見据えて消費拡大の取組を進めてもらう。 酪農生産者の労働時間については、積極的に機械導入を図ることで、労働時間の削減を推進する。	

都道府県平均達成率	20.8%	総合所見	整備した施設は適切に利用されたものの、成果目標については目標達成に至らなかったため、事業実施主体に対しては、成果目標が達成されるまでの間、毎年事業実施状況報告書において改善方策を提出させ、成果目標が達成できるよう、事業実施主体へ指導・助言を実施する。

（注）１　別紙様式１号の１の（２）のＩに準じて作成すること。
２　要綱第３の２の（２）のアの（ア）のただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
３　別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
４「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
５「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
６「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。